



生体展示への
個人的な思い

昨年に続き、8月31日
から9月16日まで白糠町
公民館で開催されたトウ
キョウトガリネズミ展が
無事に終了しました。合
計925人にお越しいた
だき、私の知る限りでは、
一番遠くは東京からいら
っしゃった方もおられま
した。お越しいただいた
皆さま、ご協力いただい
た皆さま、誠にありがと
うございました。

トガリネズミラヴァー
六田晴洋の

私たちの ご近所さん

VOL. 18

「トウキョウトガリネズミ
展を振り返って」



世界最小の哺乳類、トウキョ
ウトガリネズミと初めて出会っ
たのは2017年。あの時の衝
撃は鮮明に覚えています。なん
と言ってもその小ささ。体長は
生きている時は3センチくらい
しかありません。もはや虫。こ
れが私たちと同じ哺乳類で、し
かもどうやって暮らしているの
か詳しい部分は誰も知らないの
です。自然の神秘というものに

感動すら覚えました。それ以降、
その驚きの小ささを映像や写真
で表現したいと思い続けていま
すが、満足できるものはできて
いません。だからと言ってそれ
を独り占めしておくなんてもつ
たいない。トウキョウトガリネ
ズミ展で生きている姿を見ても
らい、7年前の感動を皆さんと
共有したい、そしてこの白糠の
自然を大切に思ってくれる人が

これからの課題

一人でも増えたらいいなという
思いがありました。いかがだっ
たでしょうか。

トウキョウトガリネズミは世
界最小の哺乳類であると同時に、
絶滅危惧種でもあります。なか
なか人目につかないせいもあり、
その存在はまだまだ知られてい



トウキョウトガリネズミ



人差し指とトウキョウトガリネズミ（飼育下）

PROFILE

六田晴洋

ろくたはるひろ

1986年生まれ。

2021年に白糠町へ移住。大学卒業後、
フリーランスのカメラマンやディレク
ターとして野生動物や自然風景を撮影
している。 <https://rokutaharuhiro.com>



生息地の自然が健全に、
かつトウキョウトガリネ
ズミを広く知ってもらう
ために、私は今後もトガ
リネズミたちを追ってい
きたいと思っています。
あの時もらった感動の恩
返しをするためにも。

ません。知られていない
ために生息地が奪われて
しまう場合もあります。
しかし、ただ有名になれ
ばいいわけではないのが
難しいところ。多くの人
に知ってもらうことは、
悪気はなくても、その姿
を見たいがために生息地
を荒らしてしまう人が出
てくるなどといった悪い
面も付属してしまうから
です。